more! KIYOSE
City Promotion Magazine

No. 13
2026.09
TAKE FREE



10 月 16 日いよいよ全面オープン！ 清瀬市立中央公園へ行こう／
「やってみたい」を応援します！ 女性活躍の場を広げる取り組み／
未来の自分に贈る健幸～フレイルを知って、今からできること～／
清瀬市竹丘多世代交流施設「えーるプラザ竹丘」

KIYOSE のひと｜社会福祉法人 清瀬わかば会
清瀬市観光協会の推し！｜中里の火の花祭

地域のみんなで子どもたちを見守る「きよせけん玉の“Wa”」







令和８年（2026年）７月12日（日）に参加した方々。

地域のみんなで子どもたちを見守る「きよせけん玉の“Wa”」

幼児から小学生、中高生までが集い、楽しく・みんなで・良い人間関係を育んでいる「きよせけん玉の “Wa”」。世代を超えた交流が生まれるだけでなく、挑戦を重ねる中で成功や失敗を経験し、自己肯定感や協調性を育む場として、多くの子どもたちの成長を支えています。

音楽とのシンクロ、仲間との共鳴 みんなで息を揃える喜びが溢れる

「きよせけん玉の〝Wa〟」は、清瀬市青少年委員が中心となり、地域のみんなで子どもたちの成長を見守る活動です。けん玉の上手さだけを求めるのではなく、「もしかめ」※をしながら踊るダンスを通して愉しみながら人と人とのつながりを育んでいます。毎月１回開催され、幼児から大人まで幅広い世代が参加しています。音楽に合わせてけん玉を動かし、一人ひとりが自分のペースで楽しみながらも周りと息を合わせて取り組むことで、自然と相手を思いやる気持ちや協力する心が育まれます。また、学校や学年を超えた交流は新たな「輪」を広げ、地域全体で子どもたちを見守るあたたかな関係づくりにもつながっています。みんなで動きを揃え、一体感や達成感を味わうことで、たくさんの「笑」が生まれ、互いを尊重し支え合う「和」の心も育まれる「きよせけん玉の〝Wa〟」。〝Wa〟には、「笑」「輪」「和」の３つの意味が込められています。「愉しく」「みんなで」「よい人間関係」を育むことを大切にしながら、これからも地域全体で子どもたちの健やかな成長を支えていきます。



※玉を大皿と中皿に交互に乗せ替えることを連続して行う基本技

保護者の声

世代を超えた取り組みに感動しました。特に、高校生世代の青少年も参加していることが、本当に素晴らしいと思います。そして、今忘れられようとしている地域の支え合いへの希望を感じます



ここへ行けば誰かがいるという居場所であり、評価されない安心感が持てる居場所だと思います。そして、取り組んだことを発表できる場でもあります



青少年育成として誇るべき取り組みだと思います。今後、近隣地域での発表の機会を創出し、けん玉を通した地域交流が生まれれば、また違った意義も出てくるかと思います



成功・失敗にこだわらず、発表会などに参加したことが子どもたちの何よりの経験になり素晴らしい活動だと心から思いました



大人も一緒になって活動できることで、お互いに教え、支え合って楽しめる場所になっていると感じました。世代を超えたけん玉というツールを通して、いい距離感で子どもたちを支え続けられることを学ばせていただきました



担当者の振り返り

10 年間活動を続ける中で、子どもたちの挑戦する心や、成功を喜び何度でも挑戦する姿勢は変わりませんでした。一方で、活動を通じて育った子どもたちがスタッフとして戻り、次の世代を支える「健全育成の循環」が生まれたことは大きな成果です。また、この活動は子どもたち一人ひとりの居場所となり、普段の生活や学校とは異なる表情で、安心して自分らしく過ごせる場にもなっています。けん玉を通して人とのつながりを築き、自信や思いやりを育み、「笑・輪・和」の理念が自然に受け継がれていることが、この 10 年間で得られた最大の財産だと感じています。





参加者同士の協調性を育む“けん玉ダンス”。



毎回活動の最後には作文で振り返りを実施。



市民まつりで技を披露する様子。

今後の予定

参加無料・事前申込不要

子どもから大人まで、初心者歓迎！ ぜひお気軽にご参加ください！

10月11日（日） コミュニティプラザひまわり
11月８日（日） コミュニティプラザひまわり
12月６日（日） 児童センター（ころぽっくる）ホール
１月17日（日） 児童センター（ころぽっくる）ホール
２月７日（日） 児童センター（ころぽっくる）ホール
２月21日（日） 児童センター（ころぽっくる）ホール
３月７日（日） 児童センター（ころぽっくる）ホール
３月14日（日） 児童センター（ころぽっくる）ホール

時　間：10:00 ～ 12:00（受付は 9:45 ～）
内　容：もしかめ、けん玉ダンス、作文など
持ち物：けん玉（貸し出しあり）、飲みもの、タオル
その他：動きやすい服装、運動靴（サンダル、ブーツ不可）



10月16日いよいよ全面オープン！

清瀬市立中央公園へ行こう

令和４年（2022年）３月の基本計画策定から約４年半。令和８年（2026年）２月の第Ⅰ期オープンを経て整備が進められてきた清瀬市立中央公園が、いよいよ全面オープンします。子どもから大人まで楽しめる新たな憩いの場へ、ぜひ足を運んでみませんか。


令和８年（2026年）８月７日（金）撮影

清瀬市の梅園・元町・松山の境界に位置する中央公園は、昭和44年（1969年）の開園以来、地域の皆さまに親しまれてきた憩いの場です。今回、開園以来となる大規模なリニューアルを実施し、いよいよ10月16日に全面オープンとなります。

リニューアルにあたっては、市民ワークショップで寄せられた声を取り入れ、工事の設計を作成。子どもから大人まで、誰もが快適に過ごせる場所を目指し、新たな遊び場などを整備しました。

最大の特徴は、子どもたちが自ら考え、工夫しながら自由に遊べるプレーパークの誕生です。創造力や挑戦する心を育む、新たな遊びの場となります。

また、公園に隣接する児童館や図書館など、先行してオープンした複合施設「まつぼっくる」と一体的に利用することで、家族みんなで1日中楽しめます。地域の交流と学びの拠点として、より便利で魅力的に生まれ変わった中央公園で、家族や友人と楽しい時間を過ごしてみませんか。



いよいよ中央公園が全面オープンします！ 園内には、新しい複合遊具やブランコ、スプリング遊具のほか、オムニコート２面のテニスコートやボールエリアを整備しました。プレーパークの開催なども予定しております。また、新しくなったトイレも快適にご利用いただけます。小さなお子さまから大人まで、誰もが楽しめる公園です。ぜひ新しく生まれ変わった中央公園へお越しください。皆さまのご来園を心よりお待ちしております！

リニューアルの歩み


令和７年（2025年）１月
仮囲いに掲示する絵画募集に協力いただいた子ども及びご家族を対象に、工事現場見学会を開催。


令和７年（2025年）１月
「夢空間」車両を陸送・設置。


令和６年（2024年）11月
仮囲いに子どもたちの絵を掲示。


令和６年（2024年）９月
工事開始。伐採・伐根・工作物を撤去。

避難場所にもなる！

幅広い世代が楽しめる公園に！



新しくなったポイント

1 テニスコート

オムニコート2面で整備。優れた水はけと適度なクッション性・滑りにより、身体への負担を軽減し、快適にプレーを楽しめます。※予約制



2 ボールエリア

ボール遊びを思いきり楽しめる専用の広場を整備。周囲を気にせず、さまざまなボール遊びができる場です。



3 遊具

複合遊具とブランコ、スプリング遊具を新設。子どもたちが身体を動かしながら、のびのびと遊べます。



4 プレーパーク

子どもたちが自分で考え、自分で決めて自由に遊べるプレーパークが誕生。主体性や創造力を育む遊びの場です。



令和8年（2026年）10月16日（金）オープン予定!!
令和8年（2026年）10月19日（月）13:30～14:30に
※令和8年（2026年）10月16日（木）オープニングセレモニーを開催（見学可）



清瀬市立中央公園
清瀬市梅園 1-613
042-497-8026（まつぼっくる）
整備工事に関するお問合せは
042-497-1802（未来創造課）

※画像は生成AIを使用して作成しています。実際とは異なる場合があります。


令和8年（2026年）8月
遊具を設置。


令和8年（2026年）5月
公園トイレの基礎が完成。


令和8年（2026年）2月
まつぼっくるオープン。


令和7年（2025年）6月
鉄骨屋根組み、屋根のデッキプレートを設置。

「やってみたい」を応援します！

女性活躍の場を 広げる取り組み

清瀬市では、誰もが自分らしく活躍できるまちを目指し、女性の就労や起業、地域活動など、さまざまなチャレンジを応援しています。「やってみたい」という気持ちは、新しい一歩を踏み出す大切なきっかけです。自分らしい働き方や暮らし方を見つけてみませんか？



キヨセ de フェスタ

「やってみたい」を応援する女性起業応援フェスタ

今年で9回目を迎える「キヨセ de フェスタ」。例年40店舗ほどが出店し、約700人が訪れるイベントです。フードや雑貨の販売、ワークショップなどを通して、さまざまな働き方に挑戦しています。

出店者の多くは、子育てや仕事との両立、さまざまな働き方を模索した経験を原動力に活動しています。例えば「育児で気分が落ち込んだ時に救われた経験から、同じような思いを抱えるママの力になりたい」と語る出店者の言葉には、自身の経験を誰かの支えへとつなげたいという温かな思いが込められています。地域の人との出会いや「また来たい」「応援している」という声が、一人ひとりの「やってみたい」を応援し、好きなことを仕事にする一歩や、地域とのつながりを育む機会となっています。今年も11月に開催し、35店舗が出店を予定しています。ぜひ気軽に足を運んでみてください。

女性起業応援 キヨセ de フェスタ 2026
開催：令和8年（2026年）11月21日（土）
10:00 ～ 16:00
場所：清瀬市男女共同参画センター「アイレック」
（清瀬市元町1- 2-11 市民協働プラザ4F）

NEW! 清瀬市女性創業応援施設 MIRETTA（ミレッタ）

『やってみたい』や出店経験を次の挑戦へとつなげる場

清瀬駅前に清瀬市女性創業応援施設「MIRETTA」が誕生します。「MIRETTA」は、女性の創業を応援することを軸に、地域で挑戦する人たちが、自分で選ぶ働き方を実現し、地域とのつながりを育みながら、未来への一歩を形にしていく場所です。商品やサービスを試せるチャレンジショップをはじめ、学びや交流による経験を重ね、継続的な活動や夢の実現へとつなげていきます。

撮影 Chiaki Tokieda

撮影 makiphotobird

オープニングイベント

10月3日（土）・4日（日）11：00～16：00

マルシェのほか、地域で活躍する創業者によるミニトーク、ミニ創業相談会などを行います。商品やサービスとの出会いを楽しみながら、「やってみたい」を次の一歩につなげる2日間です。

※通常営業は、10月6日（火）から始まります。

令和8年（2026年）10月3日（土）オープン
清瀬市女性創業応援施設 MIRETTA（ミレッタ）
場所：清瀬市男女共同参画センター「アイレック」
（清瀬市元町1- 2-11 市民協働プラザ4F）



地域女性活躍推進事業



令和8年（2026年）に開催した講座の様子。

自分に合う働き方を見つけて輝くきっかけを応援

就職やキャリアアップを目指す女性を対象に、安心して自分のペースで社会とのつながりを取り戻せるよう、キャリアプランを学ぶ講座やワークショップなど就労支援を組み合わせた取り組みを実施しています。個別相談会や出張マザーズハローワークも実施し、一人ひとりの悩みや状況に寄り添いながら、具体的な次の一歩につながる支援を行っています。必要な知識を身につけながら、自分のこれからの働き方や暮らし方をじっくり考えてみませんか。

場所：清瀬市男女共同参画センター「アイレック」
（清瀬市元町1- 2-11 市民協働プラザ4F）
チャレンジ相談：9月7日（月）13時/14時/15時
10月5日（月）13時/14時/15時
※その他の日程は上記二次元コードよりご参照ください。

清瀬市ひまわり想いやりプロジェクト



女性デジタル人材育成事業



デジタルスキルで広がる自分らしい働き方の選択肢

デジタル分野は成長が期待され、多様な働き方を実現できる分野のひとつです。本事業では、困難や不安を抱える女性を対象に、暮らしや就労につながるデジタルスキル講座を実施しています。また、過去の参加者をロールモデルとして、フォローアップや仕事体験の機会を提供。マザーズハローワークとも連携し、就労への一歩を支援するとともに、女性が安定した生活を送り、自分らしく活躍できる地域づくりを目指しています。

場所：清瀬市男女共同参画センター「アイレック」
（清瀬市元町1- 2-11 市民協働プラザ4F）
マインドセット研修：9月28日（月）10:30 ～ 12:30
※その他の日程は右記二次元コードよりご参照ください。

ことりば ビジネスチャレンジコンテスト




最終プレゼンテーションの様子。

新たなチャレンジを応援するビジネスコンテストを実施

地域課題の解決や新たなビジネスの創出、女性の多様な挑戦を応援するため、ことりばビジネスチャレンジコンテストを実施しました。さまざまな提案が寄せられ令和7年度（2025年度）は18人が参加し、20代から60代まで幅広い世代が交流しながら、アイデアの実現に向けて取り組みました。参加者には、既に事業を営む方や起業を目指す方など、多様な背景を持つ人が集まりました。市では今後も女性の個性と能力が最大限に活かされるよう、応援していきます。

未来の自分に贈る健幸※

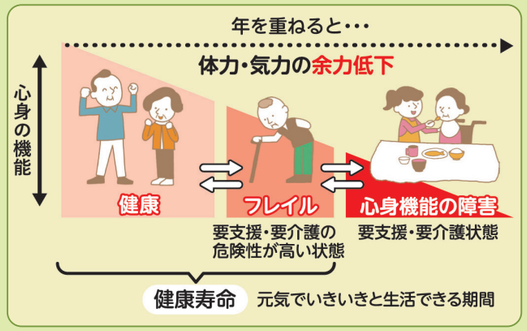
～フレイルを知って、今からできること～

年齢を重ねるにつれて、「以前はできていたことをやらなくなった」「外出や人と会うことが億劫になってきた」と感じることはありませんか。こうした小さな変化は、“ フレイル ” の始まりを知らせる重要なサインのひとつです。未来の自分への「健幸」を意識することは、若い世代からシニア世代まで誰もが取り組める健康づくりの基本です。

※健幸とは「健康」と「幸福」の2つの意味が込められた言葉として使用しています。

フレイルってなに？

フレイルとは、体力や気力、認知機能など、身体や心の機能の低下により、要介護に陥る危険性が高まっている状態をいいます。まずは、フレイルを知り、効果的な取り組みでフレイルの先送り（予防）を心掛けましょう。今から始めて、健康寿命の延伸へ！





出典：東京都健康長寿医療センター研究所　社会参加と地域保健研究チーム　「地域で取り組む！さあにぎやかにフレイル予防」リーフレット

フレイル予防４本柱

栄養　バランスよく食べて健康な身体を維持！

「年を取ったら粗食でいい」その考えは要注意。少量ずつ多様な食品を毎日バランスよく食べ、栄養不足にならないことが大切です。特に高齢者はたんぱく質が不足しがちなので、意識して摂るようにしましょう。

覚えよう！毎日食べたい10食品群　下の10食品群から1群で1点。毎日7点以上※が目標です。



出典：東京都健康長寿医療センター研究所 「健康長寿ガイドライン」

口腔　いつまでも美味しく食べて元気に笑おう！

「噛みにくいから」と柔らかいものばかり食べていませんか。加齢と共に噛む力や飲み込む力は低下し、むせや誤嚥性肺炎のリスクが高まります。お口の体操や適切な口腔ケアを続け、噛む力・飲み込む力を鍛えましょう。



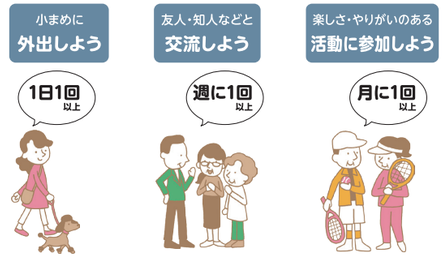
個別歯科指導のご案内

市では、清瀬市歯科医師会と連携し、無料の個別歯科指導（お口の健康チェックや口腔体操）を実施しています。ぜひこの機会にご利用ください。

対 象 者：市内在住 65 歳以上の方
申し込み：清瀬市歯科医師会加入歯科医院または介護保険課地域包括ケア係で「歯っぴークーポン券」を受け取り、直接歯科医院へ予約してください。
費　　用：無料（虫歯や歯周病などの治療費は自己負担となります）

社会参加　いくつになっても人や地域とつながろう！

人や地域とのつながりは、身体と心の健康維持にとても大切です。閉じこもりを防ぐため、毎日こまめに外出し、定期的な人との交流を心掛けましょう。人とのつながりは、身体だけではなく心の元気、楽しみを生み出す秘訣になります。



出典：東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム 「地域で取り組む！さあにぎやかにフレイル予防」リーフレット

運動　毎日少しの筋トレが健康寿命の延伸へ！

「歩いていれば大丈夫」と思っていませんか。歩く速さが遅くなったり、転びやすくなったりしたら要注意。ウォーキングに加えて毎日少しずつの筋力トレーニングを続け、足腰を鍛えて転倒予防、フレイル予防につなげましょう。

健康運動の最低限の目安



出典：東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム 「地域で取り組む！さあにぎやかにフレイル予防」リーフレット

誰かとの“つながり”が健幸を守る

～社会との交流がフレイル予防のカギ～

フレイル予防は、ひとりで取り組むよりも、家族や友人、地域の仲間と一緒に続けることで、活動量や心の健康度がさらに高くなることが分かっています。人との交流は、健康づくりへの意欲や楽しみ、生きがいにもつながる大切な要素です。地域で支え合いながら、無理なく楽しくフレイル予防を続けていきましょう。

高齢者の暮らしを拡げる「きよせ10の筋トレ」





「きよせ 10 の筋トレ」は、群馬大学が開発した高齢者向けの安全な筋力トレーニングをもとに、清瀬市で取り組んでいる運動プログラムです。 歩く、立つ、座る、またぐ、階段を昇る・降りる、高い所のものを取る、落としたものを拾うなど、毎日の暮らしに必要な動作に役立つ筋力や身体の動きを身につけ、保つことを目的としています。 椅子を使って簡単な動作をゆっくり繰り返すため、激しい運動が苦手な方でも無理なく取り組めます。また、ひとりで行うのではなく、仲間と一緒に楽しく続けられることも大きな特徴です。運動を通じた健康づくりだけでなく、地域とのつながりもできる交流の場になっています。

参加方法 ❶ 活動中の団体に参加する

清瀬市内では、令和 8 年（2026 年）7 月現在、55 の団体が「きよせ 10 の筋トレ」として活動しています。お近くの活動場所や実施状況については、「きよせ 10 の筋トレ活動マップ」をご覧ください。身近な地域で、仲間と一緒に楽しく始めてみませんか。

きよせ 10 の筋トレの詳細・活動マップはこちら ▶

参加方法 ❷ 新たに団体を立ち上げる

「きよせ 10 の筋トレ」は、地域の皆さんと専門職が力を合わせて取り組むプログラムです。身近な場所で始めたい方は、近所の方やお知り合いと集まり、新たに活動団体を立ち上げることもできます。

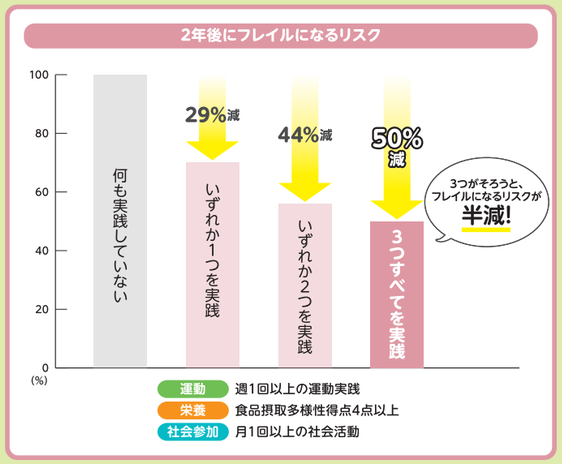


「きよせ 10 の筋トレ」体験会を開催します

日　時　令和 8 年 10 月 13 日（火）14:00 ～ 15:30
場　所　清瀬市役所 2階　市民協働ルーム

東京都介護予防・フレイル予防動画
「とめよフレイル」もチェック！

申し込み・問い合わせ先：清瀬市社会福祉協議会　042-495-5333



出典：大田区シニアの健康長寿に向けた実体調査（2016・2018）

元気のコツは、フレイル予防の“ちょい足し”

フレイル予防は、ただ元気でいるためだけのものではありません。清瀬でこれからも、自分らしく、好きなことや楽しみを続けていくための大切な取り組みです。ポイントは、「運動」「栄養」「社会参加」の 3 本柱＋1の「口腔」。3 つを実践している人は、何もしていない人に比べ、2 年後にフレイルになるリスクが約半分になるという研究結果もあります（左図）。まずは、清瀬でできることから。毎日の暮らしに、足りない要素を“ちょい足し”してみませんか。

東京都健康長寿医療センター研究所
東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 副センター長
植田 拓也（うえだたくや）



東京都 62 区市町村介護予防事業等の事業構築の支援、通いの場、ラジオ体操等に関する研究を実施に加え、都内自治体、東京都、厚生労働省の介護保険や介護予防・フレイル予防に関する委員会の委員を歴任。

世代をつなぐ、新たな地域交流拠点

ご利用お待ちしています！

清瀬市竹丘多世代交流施設

えーるプラザ竹丘



子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集い、交流できる新たな地域の拠点として、竹丘多世代交流施設「えーるプラザ竹丘」が令和8年（2026年）4月にオープンしました。地域に親しまれてきた施設をリニューアルし、多世代がつながる居場所に生まれ変わった施設の魅力や特徴をご紹介します。

地域に開かれたみんなの居場所

地域の皆さまに長年親しまれてきた「竹丘老人いこいの家」は、施設の老朽化に伴い、令和8年（2026年）4月に竹丘多世代交流施設「えーるプラザ竹丘」として新たに生まれ変わりました。これまでのシニアクラブの活動拠点としての役割を引き継ぎながら、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集い、交流できる地域コミュニティの拠点として朝9時から夜22時まで利用することができます。

2階にはキッチンや冷蔵庫を備えており、子ども食堂をはじめ、食を通じたさまざまな活動にも活用することができます。また、令和7年（2025年）4月に行われた意見交換会で寄せられた市民からのご意見を踏まえ、高齢者や子どもが安心して利用できるよう、階段の段差や手すりなど安全面にも配慮しました。地域のサークル活動や交流イベントなど、幅広い用途でご利用いただける「えーるプラザ竹丘」。世代を超えて多くの方が集い、自然と会話やつながりが生まれる、地域に開かれた交流の場として育っていくことを目指しています。

施設情報



1階 会議室1（24人）



2階 会議室2（18人）



2階 会議室3（12人）

利用申請方法

- 利用には先着順による事前予約が必要です。施設の利用申請は、利用する2カ月前の1日から先着順にて受け付けます。
- 利用申請には、清瀬市公共施設予約システムまたは、竹丘地域市民センターの受付窓口をご利用ください。

インターネットで予約

清瀬市
公共施設
予約システム
にアクセス

または

お電話で予約

竹丘地域市民センター
042-495-1717
受付時間：8:30～21:30
（月曜日を除く）

料金表

室名	9:00 | 12:00	13:00 | 17:00	18:00 | 22:00	9:00 | 17:00	13:00 | 22:00	9:00 | 22:00	定員（人）	面積（㎡）
	午前	午後	夜間	午前~午後	午後~夜間	全日		
会議室1	600	800	1,100	1,400	1,900	2,300	24	43
会議室2	500	600	900	1,100	1,500	1,800	18	29
会議室3	400	500	700	900	1,200	1,400	12	23
会議室2･3	900	1,100	1,600	2,000	2,700	3,200	30	52

※キッチンや冷蔵庫は会議室2でご利用いただけます。　（単位：円）

好評開催中！

やさしい体操

毎月第1・2・4金曜日（9:30～10:30）に開催している、シニア向けの椅子体操です。参加者からは、「身体が楽になった」「明日も頑張れる」といった喜びの声も寄せられています。運動が苦手な方でも無理なく参加できますので、ぜひお気軽にお越しください。





キッチンもあるので



子ども食堂や地域の集まりなど



どなたでもご利用できます！

※写真はイメージです。

清瀬市竹丘多世代交流施設
「えーるプラザ竹丘」
清瀬市竹丘 2-3-1
042-495-1717
（竹丘地域市民センター）
休館日：年末年始
※お車でお越しの場合は、近くの有料駐車場をご利用ください。

地域に根ざした、想いの物語

KIYOSE のひと

社会福祉法人 清瀬わかば会

清瀬の地で 40 年間にわたり社会福祉活動をしている「清瀬わかば会」。理事長の冨永健太郎さん、常務理事の有働浩子さん、施設統括責任者の深堀清美さんに話を聞きました。

清瀬わかば会は、「この街で一緒に」を理念に掲げ、重度の障害があっても住み慣れた清瀬で安心して暮らし続けられる地域づくりに取り組んできました。活動の始まりは 1980 年、当時特別支援学級の教員だった有働さんが、夏休みに障害のある子どもたちの居場所としてラジオ体操や遊びの会を始めたことです。その後、保護者の思いと共に障害児学童クラブを開所し、卒業後の働く場となる福祉作業所や、共同生活援助を行うグループホームなど、子どもから大人まで一人ひとりの成長や暮らしを支える事業を展開してきました。

また、地域とのつながりを大切にしていることも、清瀬わかば会の大きな特徴です。地域住民の協力によるバザーや参加型の夏祭り、ミュージカル公演や小学校での交流活動など、障害の有無を超えて地域との交流を育んできました。利用者を「仲間」と呼び、そのご家族にも寄り添いながら、「みんなで支え合えば大丈夫」という思いを大切に、地域への感謝を忘れず活動を続けています。この6月、仲間が地域の中で人とつながり、自然に社会へ溶け込める環境づくりの一歩として、「わかばの家ごてんやま」を開所しました。重度でコミュニケーションをとることが難しい仲間も、生活介護事業所や青年成人期の余暇活動など数年かけて集団に関わることで、何年も短期に挑戦して今回入所に至りました。（写真の仲間）





令和8年（2026年）6月に開所した「わかばの家ごてんやま」開所式（7月12日）の様子。

一人ひとりが地域の中で役割を持ち、共に支え合うことが清瀬わかば会の目指す地域づくりです。これからも、誰もが自分らしく暮らし、地域の一員として活躍できるまちを目指して、地域の皆さんと共に歩み続けていきます。

社会福祉法人 清瀬わかば会
https://kiyosewakabakai.org/

清瀬市観光協会の推し！



中里の火の花祭（毎年９月１日実施）

「中里の火の花祭」は、昭和 60 年（1985 年）3月に東京都指定無形民俗文化財に指定された伝統行事で、山梨県富士吉田市の火祭りにならい始まりました。毎年9月1日、中里の富士塚で丸嘉講武州田無組中里講社（富士講）※の講員により、火伏せや無病息災を祈願して行われます。夜には参道に明かりが灯され、麦わらの大松明に火を点ける「お焚き上げ」が祭りのクライマックスです。灰は火除けや作物の魔除けの御利益があるとされ、持ち帰る人も。また、清瀬市郷土博物館では、富士講の行衣や古文書を常設展示しています。

※富士講（ふじこう）…江戸時代に庶民の間で爆発的に流行した富士山信仰の集団・民間信仰。

more! KIYOSE vol.13
企画・発行：清瀬市シティプロモーション課 プロモーション係
発行月：2026 年9月
問合せ：042-497-1808（直通）

本誌掲載内容の無断転載はご遠慮ください。
©2026 more! KIYOSE all rights reserved.

SDGs 未来都市 しあわせは、ここにある 清瀬市 Kiyose City
清瀬市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

みんなの力で 大江戸線を清瀬市へ

あなたの声をお聞かせください

本誌へのご意見やご感想、気になる情報や見てみたい企画を募集中！ これまでの号も合わせてぜひご覧ください！

ご回答は LoGo フォームへ

バックナンバーはこちら